



脚本

約束の一閃

karasuno10

<http://unohirotest.mydns.jp/hiroshi/cgi/top.pl>

裏切りの一瞬

約束の一閃

烏野
博史

人物

剛田強ごうだつよし (15) 蟻塚中学・剣道部

坂本太陽さかもとたいよう

その友達、同・剣道部

豊橋陣とよはしじん

同・剣道部

近藤雪路こんどうゆきじ

同・剣道部・顧問

蟻塚中学剣道部員達

審判

選手達

①南雲公園（夜）

制服姿の剛田強（15）と坂本太陽（15）

は汗だくでベンチに腰掛けています。ベンチには二つの学生鞆と二着の学らんの上着、袋から出された二本の竹刀。

坂本、肩で息をしている。

坂本「剛田の目標は団体戦優勝か」

剛田、坂本を見る。

剛田「良いだろ。坂本ちゃんは？」

坂本「……公式試合で一勝する事」

坂本、真剣な眼で剛田を見る。

剛田、目を見開く。

坂本「入学してから、変らない俺の目標だ」

剛田「なんか格好良いな……うん、勝てるよ、

坂本ちゃんスゲーがんばってるし」

坂本、立ち上がる。

坂本「俺は団体戦に出られないから、明日からの個人選が中学最期のチャンスだ」

剛田、立ち上がる。

剛田「自分が鍛えたんだ。絶対勝てるよ」

坂本「剛田と当たっても手加減しないからな」

剛田、口角を上げる。

剛田「ああ、約束だ」

剛田と坂本、互いの拳をつきあわせる。

② 総合体育館・前

全国中学剣道大会予選会場の看板。行き交う選手達。

③ 総合体育館

本部門。

剛田と坂本と豊橋陣とよはしじん（15）と蟻塚中学

剣道部員達が防具と竹刀を持って、試合

のトーナメント表の前に立っている。

トーナメント表、第三試合場一試合目

で剛田と坂本の対戦が組まれている。

剛田と坂本、驚愕の表情。

剛田、坂本を見て、手を差し出す。

剛田「……坂本ちゃん。よろしく」

坂本、表をにらみつけている。

剛田と坂本の後ろに豊橋が寄る。

豊橋「うわ坂本、いきなり昨年の覇者とか、運悪っ！ 元気ださせて！」

豊橋、坂本の肩を手でゆする。坂本、豊橋の手を払いのける。

坂本、剛田の手を握る。

坂本「絶対……負けんからな！」

坂本、剛田をにらみつける。

剛田と坂本の握手した手、震えている。

坂本、そそくさと歩き去る。

剛田と豊橋と部員達、坂本の方を見る。

豊橋「何あれ？ あいつ勝てると思ってるんや。

俺達にさえ勝たれへんのに」

剛田「……うん」

爆笑する部員達。

坂本の後ろ姿。坂本、竹刀を落とす。

竹刀を拾おうとしてつんのめる坂本。

剛田、坂本と握手した手を見る。震える剛田の手。

豊橋「そうそう気付いてん！ あいつ公式戦、

中学入ってから、一勝もしてないで——」

剛田「坂本ちゃんは強くなってるよ」

豊橋と部員達は剛田を見る。

豊橋「……そうやな。ほんのちよつとずつな」

豊橋、ひよこ歩きをする。

豊橋「(坂本の声色で)まずは一勝や!!」

部員達、笑う。

剛田、豊橋の胸ぐらを掴む。

豊橋「何や、離せや!!」

剛田「坂本ちゃんはなあ。お前等よりがんばってる。じきに追い越すぞ」

部員達。剛田と豊橋をひきはがす。

豊橋、せきこむ。

剛田「もう豊橋は追い越されているかもな!!」

豊橋「……お前、アホちゃう？ わかるやろ

……: : : : : そんなワケあるかボケエ！」

豊橋、剛田につかみかかろうとするのを部員達が止める。

剛田「何で!? 豊橋が遊んでる間、坂本ちゃんずつと練習してるのにか!？」

剛田、部員達をひきずる。

豊橋「よう知つとるわ！ 坂本なんて全然あかん!! お前、こうなつとんちゃん!？」

豊橋、目の両脇に両方の手を立てて、前後に動かす。

剛田「見えてないのは豊橋だろ!？」

係員が剛田と豊橋を見る。近藤雪路（こんどうゆきじ）がやってくる。

豊橋「じゃあ聞くけどな、お前、あいつと戦って負ける気するんか!？」

剛田「そんなのわからないだろ——」

豊橋「いや、わかるな!!」

剛田と豊橋、鼻先に顔をつきあわせて睨み合う。近藤、剛田と豊橋の頭に拳を振り下ろす。

近藤「早く。各試合場に行きなさい」

豊橋「すんません……」

豊橋、防具を持ってきびすを返す。

剛田、地面を睨みつける。

近藤「剛田も行きなさい」

剛田「豊橋……お前、第二試合場やったな」

豊橋、振り返り、剛田を見る。

剛田「自分と坂本ちゃんの試合しっかり見とけ。間違いを認めさせたる!!」

豊橋、鼻で笑う。

豊橋「エセ関西弁やめろや……それに無理や」

剛田「見ずに言うなよ」

豊橋「そうやな。坂本が善戦。いや、お前に勝てたら土下座して謝ったるわ」

豊橋と部員達、歩き去る。

剛田、坂本と握手した手を見て握りしめる。

× × ×

第三試合場。

防具を装着した、坂本が試合場脇で正座している。

防具を装着した剛田がやってくる。

剛田「坂本ちゃん」

剛田、坂本の隣に座る。

坂本、前を見たまま、

坂本「俺達は敵同士だ」

剛田「……うん」

審判、剛田と坂本の名前を呼ぶ。

剛田と坂本、試合場に入る。

剛田、第二試合場脇の豊橋を見る。

豊橋、第三試合場を見ている。

蹲踞の構えをとる剛田と坂本。

審判「始め！」

剛田と坂本、立ち上がる。

坂本「(叫び)」

剛田、坂本の面を竹刀でうけ、坂本と

つばぜり合い。

剛田、坂本を突き放す。

剛田、豊橋を見る。

豊橋、第二試合場を見ている。

剛田「あいつ!!」

坂本、剛田に面を極める。

審判「一本！」

坂本「よし！」

剛田「しまっ」

剛田と坂本、蹲踞の構えを取る。

豊橋、第三試合場を見て、目を見開き、身をのりだす。

審判「始め！」

剛田と坂本、立ち上がる。

坂本、怪訝な顔をする。

剛田、豊橋を見ている。

坂本「（叫び）こっちを見ろ！ 剛田!!」

坂本、剛田に突っ込み、すれ違い様に面を入れようとする。剛田、かわす。

剛田の矢継ぎ早な攻撃を受けかわしながら後退する坂本。

剛田と坂本、間合いを取る。

坂本、武者震いをする。

坂本「（絶叫）中学最期の真剣勝負じゃ!!

行くぞ！ 剛田ああ！」

剛田、目を見開く。

剛田「（絶叫）来いや!! 坂本ちゃん！」

豊橋、啞然と剛田と坂本を見る。

豊橋「阿呆が二人おるわ」

剛田、坂本の“面”をかわし、坂本の
小手を打つ。

坂本、勢いあまり、試合場脇の豊橋の
の近くに倒れこむ。

審判「一本！」

坂本「くそ！」

豊橋「(ボソリと)勝てると思ったんかよ」

坂本の目前に立つ豊橋。

坂本、立ち上がり、きびすを返す。

坂本「(ボソリと)当たり前だ」

試合場中央から坂本と豊橋を見る剛田。

坂本、口角を上げる。

剛田、真顔。

剛田と坂本、蹲踞の構え。

審判「始め！」

剛田と坂本、立ち上がる。

歓声が止む。

坂本、何かを叫び、竹刀をふりあげる。

剛田、目線を落とす。

坂本の左胴。剛田、一歩前に出て、抜

き胴の体勢をとる。

剛田の竹刀、坂本の胴に近づく。

剛田「目標は、公式試合で……一勝」

剛田、眉を顰め、目と口を閉じる。

剛田、足を止め、竹刀も止める。

歓声が戻る。

坂本、剛田の抜き胴に気付き、かわすように脇に回り込み“面”を極める。

審判「一本！」

豊橋、目を見開く。

剛田、そつと坂本を見る。

坂本、肩で息をしている。

剛田、おずおずと試合場中央に歩く。

審判の声「早く戻りなさい」

坂本「ふざけんなあ!!」

剛田、坂本の後ろ姿を見る。

坂本の声「剛田と当たっても手加減しないからな」

剛田の声「ああ約束だ」

剛田、浮かぬ顔。

著者HP：[鳥野の箱庭](#)

